



2025-26 年度
福山西ロータリークラブ

例 会 情 報

第 1636 回 (20)

会 長 河 村 直 孝 幹 事 小 林 崇



クラブ会長テーマ 「明るく楽しくみんなで奉仕」

日 時	2025年 12月 23日 (火) 12:30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例 会 行 事	点 鐘 ・ ソング 「おお マイフレンド」 「ロータリアンの行動規範」 ゲスト・ビジターの紹介（出席報告参照） 会長報告 幹事報告 出席報告 S A A 報告 スマイル報告 プログラム情報 その他報告
その他の情報	メークアップ情報（来週分） メークアップ情報（再来週分） 今後の行事予定 クラブ活動報告



**UNITE
FOR
GOOD**

【会長報告】



皆様、こんにちは。本日も例会へのご出席、誠にありがとうございます。年末も押し迫ってきました。皆様の会社の今週末で仕事納めという方が多いのではないですか？

さて、我々ロータリアンは日々「四つのテスト」を唱和し、その第一に「真実かどうか」、第二に「みんなに公平か」を掲げています。本日は、この「公平さ」に直結する、経営者として見過ごせない実務的な変化について少しお話ししたいと思います。

最近、ニュースや行政からの通知で「下請法の運用変更」や、新しく施行された「フリーランス法」について耳にされる機会が増えたのではないでしょうか。

取適法（とりてきほう）とは、2026年1月1日に施行される、「中小受託取引適正化法」の略称のことです。現行の「下請法」を改正して作られており、事業者間の業務委託取引における中小事業者の利益を保護し、取引の適正化を図るための新しい法律になります。

これまで下請法の保護が及びにくかったフリーランスを含み、より多くの中小事業者を不公正な取引から守ることが目的です。

特に大きな変更点として、今年から約束手形のサイト（支払いまでの期間）を60日以内に短縮することが義務化されました。これまで「業界の慣習だから」と120日サイトなどで運用されていた企業様も多いかと思いますが、これはもはや「法的に認められない」時代になっています。

また、11月からは個人で活動する、いわゆるフリーランスの方々への発注についても、書面での条件明示や期日通りの支払いが厳格に求められるようになりました。

下請法や新しい法律を「守らなければならぬルール」とだけ捉えると、事務的な負担に感じるかもしれません。しかし、ロータリーの視点で見れば、これは「協力企業というパートナーを尊重し、共に繁栄する」という、極めて「奉仕の理想」に近い考え方です。

立場の強い者が、弱い立場の方々に対して誠実であること。それが、巡り巡って地域経済を強くし、我々の事業の信頼を築くことにつながります。

今一度、自社の取引が「みんなに公平か」を点検する良い機会かもしれません。

本日も、この後の例会が皆様にとって有意義な情報交換の場となることを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

【幹事報告】



No.	内 容
1	第2710地区事務局より ・地区ロータリー財団勉強会 ご案内 ・第32回ガバナー杯 ロータリークラブ親善野球大会のご案内 ・2026/4/4(土)~5(日) 2025-26年度 RYLA 開催のご案内 ・国際ロータリー：2025年手続要覧 ※12/15(月)に一斉メールをしていますので、ご覧ください。 ・
2	地区大会事務局より ・地区大会事務局より
3	米山記念奨学会より ・ハイライトよねやま

【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】



《 年次総会 》



《選出理事》

黒木 成光 (会長)
黒木 成光 (会長ノミニー)
瀬尾 義裕 (副会長)
奥野 充喜 (幹事)
三谷 篤史 (副幹事)
梶原 啓子 (SAA)
佐藤 教夫 (会計)
原田 茂実 (職業奉仕委員長)
塩川 裕樹 (社会奉仕委員長)
北 治郎 (國際奉仕委員長)
松本 京子 (青少年奉仕委員長)
河村 直孝 (前年度会長)
小林 崇 (前年度幹事)

《選出役員》

黒木 成光 (会長)
河村 直孝 (直前会長)
黒木 成光 (会長ノミニー)
瀬尾 義裕 (副会長)
奥野 充喜 (幹事)
三谷 篤史 (副幹事)
梶原 啓子 (SAA)
能登 伸一 (副SAA)
佐藤 教夫 (会計)
古井 正則 (会計監査)

《新会員卓話》



【後藤 あい さん】

2025年4月11日入会

ポーセラーツサロン Papillon

代表

職業分類：工芸美術家



profile



後藤 あい

1984.5.12 41歳

- ・生まれも育ちも広島県（中学からずっと福山在住）
- ・破天荒な父と天然な母をもつ、三姉妹の長女
- ・幼少期は習い事ばかりで剣道は小6の時に広島県1位
- ・前職はTBC岡山店の受付
- ・先生や生徒様からは女版の松岡修造と言われています

ポーセリンアートを中心とした
教室運営・教材開発・資材販売・講座開発を行っています。
お教室14年目延べ9000名の生徒様へ指導実績
お教室とオンラインのハイブリッドレッスン
遠方からの生徒様も多く、
最近はカップルのご来店が多く、デートスポットに♡

profile



主に、ものづくりを仕事にしたい女性が家庭と両立しながら自分の力で稼げる選択肢を増やすために、教室ビジネスを仕組み化しています。

趣味へお仕事にしたい方へ向けたレッスンや好きなことで教室を始めた先生が「続けられる形に変える」ところをサポートしています。

- ①教室レッスン（対面／オンライン）
- ②講座・育成（教材＋カリキュラム提供）
- ③商材提供（転写紙・白磁などの開発／販売、仕入れ）
- ④コミュニティ／織就サポート（

4姉妹の母（夫42歳／大学1年／中1／小5／小3）
→ 田であることと、仕事を続けることは、私にとって同じくらい大切な軸です。

なぜ教室を始めたのか



- ・第2子が小さく生まれ、子どものそばで働く道
- ・「家で働く」という選択肢を本気で模索
- ・そのタイミングでポーセラーツに出会う
- ・資格取得後すぐに、自宅でのお教室を開業
- ・子どもの成長も大切にしながら、社会とのつながりを持てる働き方へ
- ・最初は趣味の延長と家族に理解されなかつたが応援されたいならまず応援される人になると奮闘

ポーセラーツとは？



白い磁器やガラスにシールのような転写紙を貼り焼成して完成させるクラフト。
絵心がなくても楽しめて、既製品の食器と変わりなく使用できるので、世界に一つだけの作品として幅広い年代の方が楽しめる、昔からあるクラフトです。

＼ポーセラーツとは…／



⑤電気窯で焼成する
ガラスは600度
白磁は800度で約24時間かけて焼きます



【対面レッスン】



【オンラインLesson】



【day人気レッスン】
デザートプレート
グラス・風鈴
手形足形、写真・名入れ



【資格取得コース】

【SNSサポート】

【転写紙シート開発・販売・講座】

オリジナル転写紙制作（実際の）

レッスンに展開 全国で講師育成

オリジナル 製品として販売

最初は応援されなかつた



- ・「趣味でしょ？」と言われたことも
- ・だからこそ、姿勢で信頼を作る
- ・とにかくどんな時も継続する

私のモットー



応援されたいなら、応援される人になる
応援されるから頑張るではなく…
→頑張るから応援される

- ・決めたことをやり抜く規律
- ・自己信頼感
- ・経験と行動が自信につながる

教室スタート～現在までの歩み

2012 自宅サロン開業	2014 SNSにより遠方からの お問合せが増える	2018 お教室コンサル始める	2020 コロナ禍でオンライン化
自宅で小さな教室をスタート 2012、2014、2016年と 出席を機みながらも SNSで生徒数を伸ばす		海外から新荷華・飛行機で 渡われる生徒が増える お教室運営や講師を教えて欲 しいと言われるようになる	

教室スタート～現在までの歩み

2021 オンラインで1度に 45名レッスン開始	2022 LIVEプロモーション スタート	2023 転写紙などの資材開発と 販売事業を開始	2024 オリジナル転写紙制作を 競争化する
インスタ【V LIVE】を継続して1年 はじめ、累積登録者数 45名の方がお申込み オンラインだからこそ叶った		ポーセラーツの世界を 振り上げようと ライブ配信でセミナーを実施 コミュニティが誕生する	

転機となった出来事

- ・ライブ配信を毎日継続
(Instagram / YouTube)
- ・全国の先生たちの悩みを知る
「技術に自信がないで集客できない」

全国からオンラインレッスン依頼が殺到
これが私の活動を大きく広げる
きっかけになりました。

先生の先生という形

- ・先生は家に道具も窓もある
- ・私は画面越しに技術を伝えるだけで価値
になる
- ・オンライン技術指導を形に

転機となった出来事

マーケティングを根本から学び直したこと

「自分がこれまでやってきたことは間違って
なかった」というエビデンスが取れ、
自分のやり方や積み上げてきたものに確信が
持てるようになった。

今では、1,000人規模の女性コミュニティの
講師も務めています。

属性人性という価値

オンライン指導は当時ほとんど前例がありませんでした。
「できるかわからない」よりも
必要してくれる人がいるならやってみたい
この気持ちで挑戦し続けました。

「商品と同じくらい、人が選ばれる時代」

- ・誰から学ぶかで選ばれる時代
- ・発信=信頼の貯金
- ・人の習慣に入る（継続）

働き方の選択肢を増やしたい

子育て中でも、やりたいことを
諦めないでほしい。
家族を大切にしながら、自分の人生も
大切にできる働き方をつくりたい。
そんな全国の女性を応援するための
仕組みづくりを今も続けています。

子供の選択肢を増やしたい



学校に行きにくい子でも、お教室には毎月レッスンに来てくれます。

- ・キッズコースを通して、不登校の子や様々な背景の子と関わる
- ・夢は「知識」からしか生まれない
- ・ものづくりを通して成功体験を渡したい
- ・将来は子どもたちが築ける場づくりも視野に
- ・高校受験の時の活動実績としても活用

三方良しという考え方



転写工場や陶器の窯元はコロナ禍以降縮小している業界。どれだけ素晴らしいものを作っていても、「届ける力」がなければ、その価値は世の中に伝わりません。

せっかくいいものを作っている方がいるなら、その想いを必要な方へ届けるサポートをしたい。

そして私が売上を上げていくことによって、工場や職人さん、業界、そして地域や女性たちへと利益や活気が循環していく仕組みを作りたいと思っています。

私が大切にしている言葉



- 「お教室は、先生の器以上に大きくならない」
人が育つには、まず自分が学び、挑戦し続けること。
自分が変われば、教室も変わるという信念で活動しています。
- ・やったことがないこと苦手なことに成長がある
 - ・やりたいことではなく、求められてることをやる
 - ・動かないことが一番のリスク
 - ・できることの中からだけ選ばない
 - 発信することによって価値観を広める
挑戦をやめない大人の背中を、子どもにも見せたい。

私の使命

私がロータリーに入ったきっかけは、祥子さんです。

人生が動く瞬間って、自分の意思ももちろんあるけど誰かが声をかけてくれたとか、背中を押してくれたとかきっかけがあることが多いと思うんです。

私も仕事でも子育てでも誰かの一歩のきっかけになれる存在になりたいと思っています。



そして…2025年 中国輸入



ポーセリンアートの陶器では最上級のボーンチャイナという白磁の産地の工場へ視察にいきました。
教材は先生が教室内運営を続けるための武器になるんです。
次は白磁。国内流通には限りがあるので、中国の産地から質の高い白磁を仕入れて、
先生たちが使える教材にしていきたいと思っています。

中国視察



今回の中国視察は、岡崎さんのお力添えがなければ実現しませんでした。
現地とのつながりだけでなくどこを見て、何を判断材料にするかという視点まで教えていただき
私にとって大きな学びになりました。

韓国陶芸



そして、2025最後のチャレンジで韓国に1週間1人で滞在して、陶芸の修行に行ってきました！
韓国で人気のデザインの陶芸の技術を日本に輸入し、来年はカリキュラム化していきます。

ロータリーで学びたいこと



- ・やり方ではなく「あり方」を学びたい
- ・経営者としての価値観や判断基準を知りたい
- ・仲間の中に身を置き、体感で学ぶ
- ・人としての成長を自分の活動に循環させたい



【 そ の 他 報 告 】

福山西 RC 細則の改定（案）について会員の皆様に賛否を諮りました。

結果は会員の賛同を得て、細則改定となりました。

改定された箇所（朱記）は下記の通りとなります。

第 3 条 理 事 お よ び 役 員 の 選 挙

第 1 節

役員を選挙すべき会合（12月の年次総会）の1ヶ月前の例会において、その議長たる役員（今年度会長）は会員に対して、会長（次々年度）、副会長、幹事、会計並びにクラブ内規に定める役員及び所定の理事を指名することを求めなければならない。指名の方法として、その例会出席者の過半数の決議により、理事会は次年度理事役員選考委員を選任することができ、次年度理事役員選考委員は直ちに選考を行う。尚、次々年度会長を選考・指名するに際してはとりわけ慎重な検討を行うよう留意する。

適法に行われた指名は各役職ごとにアルファベット順に投票用紙に記載されて年次総会において投票に付せられるものとする。投票の過半数を獲得した理事候補が理事として、また、役員候補がそれぞれ該当する役職に当選したものと宣言されるものとする。

第 14 条 地 区 役 員 等 の 選 出

本クラブから地区役員等の候補者を推薦する場合、会長経験者5名以上による事前協議を踏まえた選出を行う。

【 クリスマスケーキプレゼント：少女たちの未来に灯をともす訪問 】

概要

- ・ 日時： 2025年12月22日（月）午後2時
- ・ 場所： 貴船原少女苑
- ・ 参加者（7名）： 社会奉仕委員長・鹿内要秀、副委員長・原田茂実、竹中雅彦、黒木成光、下平靖孝、能登伸一、瀬尾義裕
- ・ 寄贈品： イチゴのショートケーキ（23名分）、飛び出すクリスマスカード（23名分）

3年目の訪問、初めて目にする「生活の場」

クリスマスケーキをプレゼントする活動開始から3年。今回は初めて、入所者の皆さんがあなたを過ごす「生活の場」を拝見する機会をいただきました。そこで目にしたのは、単なる保護の場ではなく、「社会人として生き抜くための礎」を築く、真剣な教育の姿でした。

職員の方々のお話からは、言葉遣いや禮儀作法といった、人としての根幹を粘り強く指導されている情熱が伝わってきました。

「躊躇（しつけ）」が紡ぐ、魂の輝き

入所したばかりと思われる少女たちの中には、まだ言葉遣いや行儀に荒削りな部分が見受けられる子もいました。しかし、それ以上に印象的だったのは、多くの入所者がはつらつとした表情を見せていました。

中には、親が刑務所に服役中という過酷な境遇に置かれた子もいると伺いました。家庭で教わるべき当たり前の「躊躇」が、どれほどその後の人生を支える光になるか。規律正しい彼女たちの姿を見ながら、私たちは教育と愛情の重要性を改めて痛感し、胸が熱くなるのを感じ得ませんでした。

ケーキに込めた「人の優しさ」への願い

お届けした真っ赤なイチゴのショートケーキと、手で開くと立体的に広がるクリスマスカード。

「このケーキを食べている瞬間だけでも、世の中には自分たちを想い、支えようとしている人がいることを感じてほしい。人の温もりや優しさに触れてほしい。」

そんな祈りを込めて、ケーキを届けました。甘い香りが、彼女たちの閉ざされがちな心を少しでも解きほぐすきっかけになればと願わずにはいられません。

結びに代えて

更生への道は決して平坦ではないかもしれません。しかし、今回目にした彼女たちの「はつらつとした姿」の中に、確かな希望の芽を見ました。

厳しい環境を乗り越えようとする少女たちのこれから的人生に、どうか多くの幸があらんことを。私たちはこれからも、この小さな灯を絶やさぬよう、支援していきたいと思いました。



《各種表彰等》

【誕生日】



《1月10日生まれ 登里 孝司 さん》

【皆出席】



《連続33年 竹中 雅彦 さん》

《連続32年 尾熊 孝典 さん》

《連続 2年 原田 茂実 さん》

《皆出席1年 三谷 篤史 さん》

【 クラブ活動報告】



特にありません。

**UNITE
FOR
GOOD**

2025-26 年度 RI 会長メッセージ